

Challenge！！ 業務改善【モデル校特集】

第3号(平成25年8月30日)
業務改善プロジェクト・チーム
(学校経営支援課)
電話:082(513)4972



「業務改善事例集活用モデル校」で取組が進んでいます！

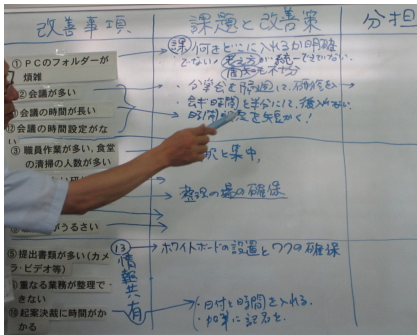
三原特別支援学校では、既存の企画戦略会議を活用して業務改善を推進しています。

企画戦略会議とは

部主事が招集・主催する会議で、構成員は、各部主事・分掌主任・分掌主事・分掌部長です(必要に応じて校長・教頭も参加)。

7月16日 企画戦略会議で協議

「熟議」で出されたアイデアを3つのカテゴリーに分類し、具体的な取組内容・役割分担等について協議を行いました。

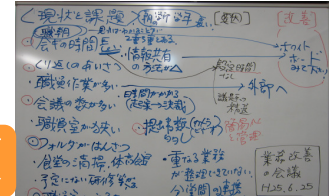


忙しいからこそ 業務改善！(事例集P46より)

これまでの流れ

6月25日 企画戦略会議で「熟議」を実施

参加者が事前に熟慮した上で集まり、課題や改善策のアイデア等を幅広く共有しました。



ホワイトボードをフル活用！⇒

7月17日～ 呼称を「業務改善SST」とし、取組を順次開始！

区分	取組項目(予定を含む)の主なもの
S 整理整頓	①パソコンの共有フォルダの整理整頓 ②分掌間で重なる業務の整理整頓 ③職員室の机の周囲の整理整頓
S 静かな環境でスピーディーな業務	①計画的な起案 ②情報の迅速な共有
T 時(間)を大切に	①会議の効率化(内容の精選、時間短縮) ②会議や研修の整理

広島商業高校では「熟議」でのアイデアを業務改善に早速活用！

校内研修で「熟議」を実施

広島商業高校では、学校の業務改善を推進するため、校内研修で「熟議」を実施しました。

研修に先立ち、校務運営会議で「熟議」のリハーサルも行われていたことから、研修当日はスムーズな進行がなされました。

また、事前に「熟議」の流れや注意点などをまとめた資料を参加者に示したこともあり、開始後すぐに多くのアイデアが出され、活発な意見が交換されるなど、参加者が研修の趣旨・内容を理解し、課題やそれに対する改善策を熟慮の上で参加していることがうかがわれました。



グループ発表では議論の内容をスクリーンに映し出し、参加者全員で課題や改善策を共有(同校では会議のペーパーレス化を図るため同様の手法を活用中！)

「熟議」でのアイデアを早速活用

「熟議」で出された「1階渡り廊下の使用開放」という動線の改善策を早速実施しました。同廊下は、自動車などが横切る可能性があるため、使用が禁止されていましたが、「左右確認」の掲示を行うなどの安全確保を行い、使用を開放しました。

「熟議」で出されたその他アイデアについても、実現可能性などを現在整理中です。

八本松中学校では「熟議」を契機に業務改善を進めています！

東広島市立八本松中学校では、7月29日に「熟議」を取り入れた校内研修を実施しました。

参加者からは、「いろいろな意見を聞くことができた。仕事の質を維持しつつ、業務改善を行いたい。」「職員同士でコミュニケーションをとることができ、意識を高めることができた。これからもコミュニケーションを大切にしながら、業務改善を実行していきたい。」という声が聞かれるなど、幅広く課題等を共有することができ、業務改善への参画意識の高まりが感じられました。

校内研修「学校業務改善研修会」の流れ

- ①業務改善の目的、業務改善の視点等について説明 7分
- ②「熟議」の説明、アイスブレイク「聖徳太子ゲーム」 10分
- ③第1ラウンド(問題点を抽出し、課題として共有) 25分
- ④第2ラウンド(改善策を出し合い、共有・検討) 25分
- ⑤グループ別発表 (3分×4グループ) 12分
- ⑥まとめ 3分



グループ内で議論し、課題や改善策を共有



グループ別に発表し、参加者全員で共有

「熟議」後の取組

「熟議」で出されたアイデアを

- ① すぐに対応できるもの
- ② 今年度中に取り組むこと (来年度に向けて検討すること)
- ③ 予算や制度の改正を伴うもの
- ④ 関係者の理解を必要とするものに分類し、①について8月下旬から改善策の試行を開始しています！

課題(一部抜粋)	改善策のアイデア	対応
週案の作成に時間が掛かる	コメント欄等の記載内容を精選	8月下旬 試行開始
金曜日の定時退校が難しい	学年主任を中心に、その週の定時退校日を学年ごとに設定	
サーバ内のフォルダが分かりにくい	責任者を設定し、計画的に古いデータを削除するなど、フォルダやファイルを整理	検討中
参観日が多い	PTAと協議する中で、月2回あるなどの参観日を減らしていく	

「なぜ?」「どうして?」まずは仕事の目的の再確認から! (事例集P70より)

安芸太田町では、共同事務室から見た業務改善に取り組んでいます！

「熟議」の様子(グループ別発表)



モデル校である加計小学校及び戸河内中学校を所管する安芸太田町教育委員会では、「教員の子どもに向き合う時間の確保」と「学校経営を確立する効率的・効果的な事務処理体制の在り方」をテーマに、共同事務室から見た業務改善の取組を進めています。

効率的な学校運営を行うため、教員や事務職員等の間で、どのような業務の割振りの変更が可能かについて、町内の全ての学校で教職員へのアンケート調査を行った後、このアンケートを参考にしながら、町内の全ての事務職員が集まって「熟議」に取り組みました。

「熟議」では、2つの共同事務室がグループに分かれて活発な議論が交わされ、事務職員の見解から、様々な改善策が出されました。

今後は、「熟議」で出された改善策を町内で整理した後、取り組み可能なものから具体化・実施していく予定です。

「熟議」で出された主な改善策の案

- 学校行事等の企画会議・起案等の段階からの学校運営への事務職員の参画
- 諸費会計を事務職員が担当
- マニュアルの整備・システム化

考えよう、話し合おう、実行しよう業務改善! (事例集P16より)